No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
1	当初案	25	I	第3次奥州市総合計画の位置づけ	2	第3次総合計画の策定にあたって	－	－	－	－	－	－	財政構造の説明部分で、「子ども子育て関連経費の高止まり」が経常収支比率悪化の要因と記載されている。国の補助対象事業も多い中、市における子ども子育て関連経費の負担が原因であるかのような表現は、保育関係者として事業が否定的に捉えられているように感じ、懸念がある。	こどもの医療費無償化など市独自の上乗せ分もあり、市としてもある程度負担をしながら力を入れているという趣旨です。表現の仕方については検討したいと考えております。	A:修正案へ反映させるもの	関係団体
2	当初案	5	I	第3次奥州市総合計画の位置づけ	2	第3次総合計画の策定にあたって	－	－	－	－	－	－	・第2次計画においても人口減少対策に取り組んできたが、成果につながっておらず、市の停滞は人口減少に起因するところが大きい。 ・自身も就職氷河期世代として苦労し、経済的理由で出産を諦めた人を多く見てきた。今が最後のターニングポイントであり、予算を投じてでも取り組むべきではないか。	・人口減少は市政の全ての分野に関わる重要な課題と認識しております。 ・人口ビジョンを見直し、若者の回帰や出生率向上等の施策を講じることで2060年時点の目標人口を約6.5万人と設定しております。企業誘致や住宅施策等、あらゆる施策を講じて人口減少に対応したいと考えております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	地域会議
3	当初案	5	I	第3次奥州市総合計画の位置づけ	2	第3次総合計画の策定にあたって	－	－	－	－	－	－	・計画にある「少子高齢化や人口減少に負けないまちづくり」とは具体的に何か。 ・衣川地域は市全体の倍のスピードで人口減少が進んでおり、このままでは30数年で地域が消滅しかねない。衣川を「人口減少対策の特定地域」と位置づけ、全庁的な対策を計画に盛り込むべきだ。	・（市長）個人的な思いとしても、人口減少に抗い、地域が存続していくことが必要だと考えております。地域おこし協力隊の活用や農業支援、子育て環境の整備などを通じ、「奥州で子育てして良かった」と思われる魅力あるまちづくりを、時間をかけずに進めたいと考えております。これは衣川だけでなく奥州市全体が抱える課題です。 ・（政策企画課長）人口減少は進むという厳しい認識のもと、関係人口の創出や移住定住施策に取り組んでまいります。計画の中、総合戦略では、中山間地域などの地域特性に応じた施策を展開することを盛り込んでおります。	C:修正案に反映させないもの	市政懇談会
4	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・「めざすべき都市像」について、市民投票で市民の声を反映させる手法は新しいと思うが、6つの案は、策定の初期段階で市民の声だけでなく、市長の思いも入れて検討されたものか。 ・「めざすべき都市像」は、市の「顔」になる部分なので、一目見て何に向かって進んでいるか分かるような、インパクトのあるものが好まれる傾向がある。	・「めざすべき都市像」について、従来は庁内で案を作成しておりましたが、今回は市民の意見を広く聞くことを前提としました。アンケート結果を基に庁内で40案を作成し6案に絞り込み、その段階で市長の思いも反映してワークショップで揉んでもらいました。 ・今回は16年という長期計画なので、首長交代で変わるものではなく、普遍性の高い理念を目指しております。市民投票の結果も参考に、最終的には総合計画審議会で決定いたします。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	地域会議
5	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・めざすべき都市像の候補案は、要素を盛り込みすぎて分かりにくい。「住み続けたいまち」など、もっとシンプルで市民が自分事として捉えられるスローガンが良いのではないか。 ・例えば、現在策定中の環境基本計画の最上位の概念は「ウェルビーイング」である。	・今回の計画策定プロセスでは、これまでの行政主導の計画づくりから、市民や関係団体の意見をより取り入れる形に変えております。11月に出す予定の修正案までに、いただいた意見を踏まえ、市民が自分事として捉えられる計画を目指したいと考えております。 ・めざすべき都市像をどうすべきかは、100人に聞けば100通りの答えがあると思われます。庁内で40案程度を出して議論し、めざすべき都市像を考えるワークショップに臨みました。ワークショップでも、シンプルに、キャッチーにすべきか、それとも誰一人こぼれ落ちることのないよう包括的な概念とすべきか、そういった議論も行われてきたところです。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
6	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	めざすべき都市像を検討する市民ワークショップに参加したが、議論の進め方や時間の制約から、参加者の意見が十分に反映されたとは感じられず、言葉遊びで終わってしまった感があり、モヤモヤが残った。とはいえ、行政側の立場も分かるので、誰もが納得するようなスローガンを作ることが難しいことは理解する。	ワークショップについては、ご意見を真摯に受け止めたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
7	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・計画に「夢」がない。今と何が変わるのか感じられない。関係人口の創出や大谷翔平選手を絡めるなど、もっと夢のある、面白い計画にしてほしい。 ・他市の先進的な取組（八幡平市の学校誘致など）は魅力的に見える。	・長期ビジョンは16年という長期間の普遍的な理念として定めております。夢のあるキャッチーなものは、別途ブランド戦略などで検討したいと考えております。 ・アクションプランは毎年度見直し、実効性と柔軟性を持たせることで、いただいた意見も反映できるような仕組みにしております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
8	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・めざすべき都市像の市民投票について、スマートフォンでの投票は高齢者には難しく、入り方がわからない人もいる。 ・支所に投票用紙があることが十分に周知されていないのではないか。「QRコードからしか入れない」と思っている人もいた。周知の方法はどうなっていたか。 ・広報に投票用紙を挟み込むなど、もっと分かりやすい形で周知してもらえれば、投票につながったのではないか。	・広報おうしゅうや定例記者会見等で、投票用紙が各支所にあることも含めて周知を図ってまいりました。しかし、ご指摘のとおり、情報が十分に行き届いていない点は認識しており、今後の課題としたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
9	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・目指すべき都市像の6つの候補案は言葉遊びのようで分かりづらい。より短く、分かりやすい表現にすべきではないか。 ・都市像の候補案について、詳細な選定理由が示されないと、その言葉が何を意味するのか市民には理解しがたいのではないか。	・目指すべき都市像の候補案を選定した経緯については、QRコードからご確認いただけます。 ・いただいた意見は、他の場でも同様にいただいており、ご意見として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
10	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・目指すべき都市像の6つの候補案は、文言として洗練されておらず、見直すべきではないか。	・（市長）都市像の案は市民ワークショップで出た意見を尊重したものです。これを参考に最終案を決定していきます。 ・（政策企画部長）いただいた意見も踏まえ、今後、総合計画審議会で最終案を審議していただきます。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
11	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・目指すべき都市像の6つの案（「新しい価値をここから」等）と、アクションプランに掲げる具体的な施策は、どのように連動するのか。	・目指すべき都市像は、市民アンケートやワークショップに基づき設定した、市の長期的・普遍的なイメージです。そのため、個別の事業と直接的に連動するものではありません。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
12	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・目指すべき都市像の候補はどのように作られたのか。今後、内容の追加や変更は可能なのか。 ・施策の展開にあたっては、画一的ではなく、各地域の特性に配慮すべきだ。周辺地域が賑わってこそ中心市街地も栄える。	・（市長）めざすべき都市像は、60ほどの候補の中から6つの候補に絞って提案しました。現在実施中の市民投票で、自由な意見も含めていただきたいと考えております。計画は市民と共に作り上げるものと考えており、地域の実情に合わせた施策を展開したいと考えております。 ・（政策企画課長）都市像は市民の意見を基に作りたいと考えております。市民投票には既に1,400名以上が参加しており、自由記述欄も設けておりますので、ぜひ意見を寄せていただきたいです。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
13	当初案	28	2	長期ビジョン	2	めざすべき都市像	－	－	－	－	－	－	・めざすべき都市像の6つの候補案について、フレーズの整合性が取れていなかったり、意味が不明瞭であったりと、日本語として分かりにくい箇所が多い。 ・市職員が自由に意見を言えるような、風通しの良い組織になっているのか懸念している。	・都市像の案は、職員や未来デザイン会議など、様々な人の意見を聞いて作成した候補案です。 ・投票だけでなく、本日いただいたような意見もいただきながら、より良いものに作り上げていきたいと考えております。 ・職員からも意見を入れながら進めており、風通しの良い市政を目指しております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
14	当初案	33	3	アクションプラン	1	政策体系（図）	3	健康・福祉分野	－	－	－	－	・P33の体系図（3-5-1 障がい者福祉サービスの充実）において、事務事業の欄に「第3次子どもの権利に関する推進計画」や「第3期奥州市子ども・子育て支援事業計画」といった計画名が記載されている。ここは具体的な事業名を掲載すべきではないか。 ・市の計画として、再犯防止推進計画など、国や県で策定されている各種計画がきちんと網羅され、整合性がとれているか、改めて確認すべきである。	・体系図の事務事業の欄は、現時点では継続事業を中心に記載した暫定的なものであり、完成版ではありません。いただいたご意見を踏まえ、新規事業等も含めて精査し、修正していきたいと考えております。	A:修正案へ反映させるもの	関係団体
15	当初案	30~40	3	アクションプラン	1	政策体系（図）	－	－	－	－	－	－	・分野の構成が、縦割りのままであり市民にとって分かりづらい。経済・社会・環境といった全体に関係する要素を意識するなど、構成を工夫すべき。 ・SDGｓについても、対応を示すに留まっている。	縦割りについては課題と認識しております。分野横断的な視点は、今後具体化する総合戦略のパートで示していきたいと考えております。	C:修正案に反映させないもの	関係団体
16	当初案	30~40	3	アクションプラン	1	政策体系（図）	－	－	－	－	－	－	・計画の全体版には、具体的な事務事業も掲載されているのか。	・事務事業はホームページで公開している全体版に掲載しております。ただし、現行事業を中心とした「仮置き」の状態で、今後の予算査定を経て正式に掲載いたします。今後は施策レベルから毎年度見直しが可能になります。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
17	当初案	42~43	3	アクションプラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい分野	1	協働と地域主体によるまちづくりの推進	1	市民公益活動の支援	・若者のアイデアを地域との協働により具現化できるようにするため、若者と地元企業等を繋ぐ場や、伴走支援・補助金の創設を検討してほしい。	・当市においては、これまで市民公益活動等への相談・支援を担う専門的な中間支援組織が不在のため、十分な支援体制が構築できていないと認識しています。まずは、全県レベルで活動している中間支援組織や「協働の提案テーブル」による市の企業担当課と連携しながら市民公益活動を後押しできるような体制を整備して参ります。 ・また補助金の創設についてですが、補助金は協働の手法の一つであり、補助が前提の事業は、本計画を作成する段階では設定しづらいですが、施策推進上必要となった段階で検討して参ります。 ・その他、昨年度より高校生を対象としたまちづくり活動や学生自らがやりたいことを地域のためにどのように生かすかを学ぶプログラムとして「協働のまちづくりアカデミージュニア」を事業化しました。今後は、このアカデミーで出たアイディアを実践体験できるような事業となるよう進めて参ります。	D:その他、要望・意見・感想等	奥州市の未来デザイン会議（市民ワークショップ）
18	当初案	43	3	アクションプラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい分野	1	協働と地域主体によるまちづくりの推進	2	地域づくり活動の支援	・（意見）人口減少対策として、地域のコミュニケーション活性化が重要である。運動会等の行事を継続することで交流が生まれ、地域の課題解決にもつながる。市としても地域が集まる機会づくりを推進してほしい。	・地域のコミュニティ希薄化は共通の課題であり、集まる機会の創出は重要です。活動の核となる地区振興会の運営や人材育成を引き続き支援することで地域の主体的な行事を後押しし、地域の課題解決につながる活気あるまちづくりを進めてまいります。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
19	当初案	43	3	アクションプラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい分野	1	協働と地域主体によるまちづくりの推進	2	地域づくり活動の支援	・地域の担い手である自治会への支援が不足しているのではないか。	・地域の集会所の修繕等に対する補助制度や、地区振興会への交付金等の支援を通じて、個別の自治会活動も含め地域全体を支援していきます。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
20	当初案	43	3	アクションプラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい分野	1	協働と地域主体によるまちづくりの推進	2	地域づくり活動の支援	・地域コミュニティの活性化 行政と市民が協働し、地域の魅力を知り、発信し、高めていく「情熱のサイクル」を構築することで、持続可能な「共助の仕組み」を作るべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
21	当初案	45~46	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	2	男女共同参画 社会の形成	1	あらゆる分野に おける女性活躍 の支援	・総合計画に女性活躍の視点をより盛り込むべき。また、市の管理職への女性登用が不十分ではないか。	・（市長）女性職員は各部署で力を持って活躍していると認識しております。さらに活躍できる方向性を推進したいと考えております。 ・（協働まちづくり部長）政策決定過程への女性の参画の促進を盛り込んでおり、女性活躍推進法に基づく市町村計画においても推進しているところです。引き続き女性が活躍できる社会を目指して取り組んでまいります。 ・（総務部長）管理職登用は性別を問わず能力本位が基本です。部長級は目標未達ですが、課長・補佐級は目標を達成しております。今後も女性のキャリア意識の向上とキャリア形成のための支援に努め、女性の管理職登用につなげていきます。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	市政懇談会
22	当初案	47	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	3	ILC推進・多文 化共生社会の 形成	1	ILCの推進	・ILCの推進については、10年以上進展がない状況を鑑み、市の計画から外してもよいのではないか。	・ILCは近隣自治体（一関市・気仙沼市）とも連携して要望活動を行っております。また、ここ数年である程度の見通しが立つ見込みのため、現段階で施策から外すことは考えておりません。 ・計画は市長任期に合わせ4年+4年の8年計画であり、4年後には状況に応じて見直しを行うこととしておりますので、その際に改めて判断することは可能です。	C:修正案に反映させないもの	地域会議
23	当初案	47	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	3	ILC推進・多文 化共生社会の 形成	1	ILCの推進	・ILC推進と多文化共生を同じ政策にしている理由は何か。	・元々、ILCが来れば外国人研究者が増えるだろうということで一緒にした経緯があります。しかし、分かりにくいとの指摘があり、現在、男女共同参画なども含めた「ダイバーシティ」という観点から政策の組み立てを見直すことを内部で協議している段階です。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
24	当初案	47~48	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	3	ILC推進・多文 化共生社会の 形成	2	外国人市民が 安心・安全に暮 らせる環境の整 備	・工業団地から帰宅する外国人の自転車マナー（無灯火、並走等）が非常に悪い。また、ごみ出しのルールが守られていない問題もある。 ・当事者に伝わる多言語での情報提供や、雇用主である企業への指導を徹底すべきではないか。	・ごみ出しや交通マナーについては、当事者に伝わる言語での情報提供と、雇用主との連携が不可欠と考えております。全庁的に対策を進めていきます。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
25	当初案	50~51	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	4	生涯学習の推 進	1	生涯学習環境の 整備	・市のモデル事業として実施してきた学習支援事業「愛宕塾」について、他地区での実施がないことを理由に、来年度以降廃止する方向で市から相談があった。子どもたちのために有益な事業であり、継続を希望する。	事業の有用性は認識しておりますが、他地区への広がりが見られなかったため、事業全体の見直しの中で検討せざるを得ない状況となっております。振興会と今後のあり方について相談していきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
26	当初案	51	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	4	生涯学習の推 進	2	読書活動の推進	・読書活動の推進について、移動図書館の周知が不足している。地区センターへの巡回日時などの情報提供を強化すべきである。	しっかりと周知に取り組む必要があると考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
27	当初案	51	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	4	生涯学習の推 進	3	文化・芸術活動 の支援	・郷土芸能に励む子どもたちへの表彰制度を設けるべきではないか。	芸術文化協会で表彰しております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
28	当初案	51~52	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	4	生涯学習の推 進	3	文化・芸術活動 の支援	・そもそも江刺に文化ホールが必要か不要かという観点から検討してほしい。高齢者にとってZホールは遠くて利用しづらい。	・（市長）計画では文化ホールではなく、コミュニティ施設にホールの機能もあるというものでした。真に必要な施設や財政的なものを考慮して検討を進めたいと考えております。 ・（協働まちづくり部長）令和3年度に策定した個別施設計画において、さらホールは廃止し、その代替機能は地域のコミュニティセンターや当多目的ホールが担うと位置づけております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
29	当初案	51~52	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	4	生涯学習の推 進	3	文化・芸術活動 の支援	・総合計画の基本理念とする奥州市民憲章の「文化のかおり高いまち」について、市の芸術振興への支援が不十分ではないか。	・（市長）文化振興は旧市町村の成り立ちにより支援体制が異なる経緯があります。今後、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。 ・（協働まちづくり部長）芸術文化協会への支援は行っておりますが、各地区の個別の事情まで及んでいない部分については、支援のあり方を検討したいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
30	当初案	52~53	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	4	生涯学習の推 進	4	スポーツ活動の 支援	・市内に6か所ある野球場のうち、根岸と衣川の球場を使用しない方向と聞いたが、県大会等の開催には多くの球場が必要であり、現状でも会場確保に苦慮している。 ・市内の球場は老朽化が著しく、大谷翔平選手の出身地として、高校野球の公式戦も開催できるような本格的な球場の整備を検討してほしい。	（市長）高校野球の予選すら市内で開催できない現状を課題と捉えております。陸上競技場についても同様に、子どもたちが市内で練習できる環境を整える必要があります。 ・（協働まちづくり部長）持続可能性の観点から、6球場を前沢いきいきスポーツランド野球場、胆沢野球場、江刺中央運動公園野球場の3球場に集約する方向で検討しております。集約により、残す球場の機能向上を図り、高校野球等に対応できる可能性も探っていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
31	当初案	55	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	5	文化財の保存・ 活用	3	文化財の公開と 活用	・文化財施設の再編に関し、市立博物館の新設を柱として検討を進めるべきと計画に明記できないか。	来年度から検討委員会を立ち上げて、その中で施設再編を検討していく予定です。新設も選択肢としてはありますが、現時点では踏み込んで記載できないと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
32	当初案	58	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	6	戦略的広報と 移住定住・関係 人口の創出	2	シティプロモー ションの推進	・ふるさと納税について、奥州市の収支（歳入と市民による他自治体への寄付額の差）はどうか。歳入増となった分は、子育て支援など特色ある事業に活用してはどうか。 ・地域おこし協力隊について、土地取得の問題で任期途中にリタイアした事例もある。国費で措置されるのだから、もっと積極的に呼び込むべきではないか。	・ふるさと納税は県内では健闘しておりますが、返礼品による影響も大きいです。いただいた寄付金を特定の事業に活用する仕組みは重要であり、意見として担当課に伝えたいと考えております。 協力隊については、3年間の任期終了後の定着に向けた手厚いバックアップ体制の構築が不可欠です。定住につながる仕組みづくりを進めたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
33	当初案	58	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	6	戦略的広報と 移住定住・関係 人口の創出	2	シティプロモー ションの推進	・ふるさと納税で、奥州市民が他自治体へ寄附している額はどのくらいか。	奥州市民がふるさと納税で、令和7年中に寄附した額は 約3億4千万円であり、ほぼ全額が他自治体への寄附額となります。（参考：令和6年約3億円）	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
34	当初案	58	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	6	戦略的広報と 移住定住・関係 人口の創出	2	シティプロモー ションの推進	・計画にある「関係人口の創出」について、具体的な施策は何か。北股地区で取り組んでいるボランティア受入なども有効ではないか。	・具体的な施策としては、地域おこし協力隊やふるさと納税を活用した「奥州ファン」の獲得、観光アクティビティなどを考えております。各分野で関係人口創出につながる事業を、戦略の中で見える形で取り組んでいきたいと考えております。関係機関への支援も考慮すべきとの意見は持ち帰り共有いたします。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
35	当初案	58	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	6	戦略的広報と 移住定住・関係 人口の創出	2	シティプロモー ションの推進	・市のマスコットキャラクター「おうしゅうたろう」をもっと活用（企業等による自由利用の許可など）してはどうか。	・「おうしゅうたろう」は申請すれば利用可能であるため、PRに活用いただきたいです。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
36	当初案	58	3	アクション プラン	2	分野別計画	1	協働・生きがい 分野	6	戦略的広報と 移住定住・関係 人口の創出	2	シティプロモー ションの推進	・戦略的なシティプロモーションの展開 地域の魅力を発掘・発信し、「ヒト・モノ・カネ・情報」を呼び込む活動が過疎脱却に最も重要である。関係人口の拡大や観光客、ふるさと納税の増加を目指すべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
37	当初案	62	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	1	児童・生徒の学 びの充実	・「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合を示す指標について、目標値が低いのではないか。教職員の働き方改革を進め、授業改善に充てる時間を確保することが本質的な課題である。	積極肯定なので、「とてもよくわかる」と回答した割合となります。「わかる」を含めると8割以上の割合となっております。 働き方改革に取り組んでいる職場が増えてきており、先生が教え方の研究ができ、授業に活かしております。	A:修正案へ反映させるもの	関係団体
38	当初案	63	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	3	特別な配慮や支 援を必要とする 児童生徒・家庭 への支援	・特別支援教育について、事後的な対応だけでなく、早期発見のためのスクリーニングや、保護者・市民への理解を促進する啓発活動に力を入れていただけるとありがたい。	援を要すると考えられる幼児の観察や保護者面談は行っております。啓発活動は工夫して取り組んでまいります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
39	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	－	－	・規範意識や健全育成といった「心の教育」の視点が計画に不足している。	教育振興基本計画では、政策2－1のみの抜粋であり、政策2－2に記載） 難しいところではありますが、検討させていただきます。	A:修正案へ反映させるもの	関係団体
40	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	－	－	・学校教育の充実について、施策「健やかな体の育成」に「心」という文言も加えてほしい。 ・最近の商業施設での中学生の迷惑行為などを見ると、子どもたちの心の教育に一層力を入れるべきではないか。	ご指摘のとおり、心の教育は大変重要だと考えております。現在策定中の教育振興基本計画策定委員会においても同様の意見があり、計画に盛り込む方向で検討しております。 ・ご指摘の迷惑行為については、関係機関と連携し、当事者である子どもたち一人ひとりに丁寧な指導・支援を継続しております。	A:修正案へ反映させるもの	市政懇談会
41	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	－	－	・計画案の学校教育に関する記述が小学校以降の内容に偏っており、幼児教育（特に3歳からの育ち）の視点が欠けている。架け橋期カリキュラム（5歳児と小1）の記述だけでは不十分である。	（教育振興基本計画では、政策2－1のみの抜粋であり、政策2－2に記載） 学校教育の充実においても、幼児教育と小学校の円滑な意思疎通に触れておりますが、表現の仕方を検討したいと考えております。	A:修正案へ反映させるもの	関係団体
42	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	－	－	・福祉教育、ボランティア教育、人権教育といった活動について、もっと計画の前面に出して具体的に記述すべきではないか。	必要な視点であると考えております。他分野とのバランスを考えながら調整したいと考えております。	A:修正案へ反映させるもの	関係団体
43	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	－	－	・福祉施設等と学校・園を繋ぐマッチング機能を市が担えないか。また、部活動を支える外部指導者へのサポートが必要ではないか。	個別の事案については、できるところからコーディネートしていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
44	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充実	－	－	・計画が網羅的になりすぎている。奥州らしさを出すためには、施策の重点化や取捨選択を行い、濃淡をつけるべきである。	ご意見として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
45	当初案	61～66	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	－	－	・若者定着のための奨学金返済支援 若者の市内就職・定着を促すため、ふるさと納税を財源とし、全学部生を対象とした奨学金返済支援制度を拡充すべきである。	ご意見として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
46	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	1	保育・教育環境 の充実	計画に掲載している施策・事業は、市が財政的な裏付けをもって推進していくという前提でよいか。例えば、誰でも通園制度の成果指標を掲げる以上、施設が維持できるような市の支援策が前提となるのか。	誰でも通園制度単体で経営が成り立つものではなく、延長保育など他の支援策と組み合わせた、切れ目のない子育て支援策の一つと位置づけております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
47	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	1	保育・教育環境 の充実	市は、保育の多機能化が必要という認識か。	国の方針でもあり、市としても必要と認識しております。各園からの個別相談にも応じていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
48	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	1	保育・教育環境 の充実	・小山東幼稚園が休園となったが、地域の共働き世帯の多くは地区外の保育園を利用している。幼稚園と保育園を一体化した施設を地域に残すことで、園児の確保や地域内の子どものつながりを維持できるのではないか。	・保育施設は学区制がなく、保護者の勤務等の都合で選択される傾向があります。少子化により多くの施設で定員割れが生じ経営が厳しい状況もありますが、希望する施設に入れるよう努めたいと考えております。延長保育等のニーズも確認しながら検討いたします。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
49	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	1	学校教育の充 実	1	保育・教育環境 の充実	・愛宕保育園の閉園に伴い、来年度から遠方の保育園へ通うことになるが、送迎バスがない。高齢の祖父母による長距離の送迎は負担が大きく、移住・定住の妨げにもなる。少人数でも送迎バスを運行できないか。	・送迎バスは国の制度外の任意サービスであり、市が公費で運行することは困難です。しかし、こうしたニーズがあることは、当該施設を運営する法人に伝えていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
50	当初案	70～71	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育 て分野	2	こども・子育て 環境の充実	4	青少年の健全育 成	放課後児童クラブは待機児童も発生しており、不足しているのではないか。利用料の見直しや施設増設などの具体的な対策が必要ではないか。	施設の新規開設や拡充により、待機児童の解消に向けて取り組んでいるところであり、さらなる解消に向けて、既存施設の活用など検討していきます。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
51	当初案	70	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	2	こども・子育て環境の充実	4	青少年の健全育成	・放課後児童クラブの指定管理を受託している立場から質問する。クラブの整備は、P70の主要事業「放課後児童健全育成事業」に含まれるのか。あるいは小学校の施設整備事業と関連するのか。個別施設計画にも記載はあるが、この総合計画における整備事業の位置づけを明確にしてほしい。	・当初案に掲載している主要事業は、主に継続事業を前提としております。施設整備のような大規模な新規事業については、今後の予算編成過程等で事業化が決定すれば、計画に反映されることになります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
52	当初案	70	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	2	こども・子育て環境の充実	4	青少年の健全育成	・学童に通えない高学年や中学生へのケアはどうなっているか。全国的に有名になってしまったコープアテルイの出禁の件で危惧を覚える。 ・学童指導員の資格や資質（言葉遣いなど）に疑問を感じた。指導員の研修体制などはどうなっているのか。	・こども食堂の開設や市ホームページでの情報発信を通じ、放課後児童クラブ等を利用しない小学校高学年や中学生を含むこどもたちの居場所の開設や運営を支援しております。この居場所では、食事の提供だけでなく、学習支援、体験活動や、地域のボランティア活動の場として運営されているところもあり、子どもを含めた市民が安心して過ごせる交流の場を提供していただいております。 ・放課後児童クラブの支援員の資格を取得するためには、認定資格研修を受講し終了認定が必要です。また、県や市による資質向上のための研修も毎年実施しております。不適切な言動がないよう、運営団体への指導も行っております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
53	当初案	65	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	1	学校教育の充実	5	郷土愛及び自己肯定感の醸成	・学校の統廃合により、便利な小学校区や大型商業施設の近くに人口が集中し、それ以外の地域が衰退している。 ・便利さの追求だけでなく、地域への愛着や誇りを育むことが重要。古くからあるものを大事にしていく地域づくりを計画に盛り込むべき。	・中山間地域の厳しい状況は認識しております。一方で、コミュニティを大事にし元気な地域もあります。 ・子どもたちが地元に愛着を持つ「郷土愛」を育む施策は重要であり、将来地元に戻ってくるきっかけにもなるため、そうした視点で取り組んでいきたいと考えております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	地域会議
54	当初案	65	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	1	学校教育の充実	5	郷土愛及び自己肯定感の醸成	・郷土愛の醸成は人口流出の歯止めに不可欠。世代間交流や伝承行事を大事にする地域は、実際に子どもたちが残ったり帰ってきたりする傾向がある。地域福祉だけでなく、地域おこし・地域づくりの視点も併せて推進することが重要。	「郷土愛及び自己肯定感の醸成」を施策として推進してまいります。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
55	当初案	65	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	1	学校教育の充実	5	郷土愛及び自己肯定感の醸成	・平泉町の「平泉学」のように、子どもの頃から地域の歴史や誇りを学ぶ機会が、地域への愛着を育む上で非常に重要。 ・水沢の城下町など、古くからある地域の魅力やポテンシャルを活かし、新しいものと融合させていく視点が必要。	ご意見として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
56	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	2	こども・子育て環境の充実	－	－	・計画の目指す姿として「こどもが地域での学びや交流を通じて心豊かに健やかに育っている状態」とあるが、どのようなこどもに育ってほしいかをより前面に出す見せ方も考えられるのではないか。 ・施策概要に記載の延長保育や一時預かり等が、どの主要事業に含まれるのか分かりにくい。 ・成果指標の「保育定員充足率」及び「乳児等通園支援事業実施施設数」の目標が「増加」となっているが、達成は困難ではないか。特に、誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の需要が本市で見込めるのか疑問。	保育定員充足率は「維持」に修正予定であり、資料の修正漏れでした。乳児等通園支援事業は令和7年度から創設された制度で、在宅児に集団生活を体験させたり、保護者の孤立を防ぐといった目的を達成できるよう推進していきたいと考えております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
57	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	2	こども・子育て環境の充実	－	－	・子育て支援について、給食費無償化は賛成だが、現金支給以外の支援（ボランティア活用など）も検討し、子育てしやすい市にしてほしい。	・子育て世代が移住してくるような市を目指します。おむつのサブスクや、遊休施設を活用した遊び場の確保など、財政も考慮しながら負担軽減策をアクションプランで具体化していきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
58	当初案	67～68	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	2	こども・子育て環境の充実	－	－	・子育て支援の抜本的拡充 子育て世帯の経済的負担軽減（医療費・就学支援等）や、「メイプル」を拠点とした相談機能・居場所づくりの強化など、子どもを核としたまちづくりを推進すべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
59	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・市内に産科・小児科が少なく、子育てしにくい状況が転出の一因になっている。医師確保のための施策を講じるべきではないか。	・産科・小児科の確保は市でも重要な課題と認識しております。特に産科は医師一人がいればいいのではなく、チームでの体制整備が必要であり、まとまった数の医師やスタッフ体制を組まないと難しいという現実があります。私（担当者）からこれ以上は控えさせていただきます。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	地域会議
60	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・以前の計画にあった新病院の計画は、今回記載がないがどうなっているのか。	・選挙公約に基づき一旦凍結し、地域に必要な医療のあり方をゼロベースで検討している状況です。	C:修正案に反映させないもの	市政懇談会
61	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	計画にも医師不足が示されているが、水沢病院の小児科・産科がなくなった現状を踏まえ、市として医師を招へいする可能性はないのか。	産科医等はチームでの対応が必要であり、県立病院でさえ維持が難しいのが現状です。困難ではありますが、市長も努力していく姿勢を示しております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
62	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・市長は新医療施設について、現計画を白紙撤回し2年後には新たな計画を始めると言っていたが、期間が短すぎるのではないか。市長の中に具体的な構想はあるのか。また、産婦人科等は優先的に整備されるのか。	・（市長）現計画には課題があるため、現在、地域の医療関係者と連携し、奥州市全体の医療提供体制を構築するための検討会議を進めております。年末年始を目途に方向性を示したいと考えております。その中で産婦人科・小児科のあり方も必死に模索しております。 ・（健康こども部長）12月頃までに新たなビジョン（方向性）を示し、市民への説明や意見聴取を行った上で、年度末までに一定の方向性をまとめ、具体的な計画策定へと進めたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
63	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・岩手県は医師数が全国で最も少ない。新医療センターを建設しても医師を確保できるのか。 ・胆沢病院で対応できない検査があった。市内の医療提供体制に不安がある。	・（市長）地域の医療をどう守るかという観点から、胆沢病院が地域の中核として機能することを基本に、市の医療機関の役割分担などを県とも連携し検討しております。 ・（医療局経営管理部長）医師偏在は事実ですが、大学への働きかけなどあらゆる手法で医師確保に努めております。検査については、特殊なものは圏域外の病院を紹介することもありますが、圏域内で医療が完結できるよう努力したいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
64	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・新医療センターについて、設置場所はどこか。営業しながらの建て替えは工費が割高になるのではないか。 ・前市長が進めていた計画で発生した調査費や設計委託のキャンセル料はいくらになるのか。	・（市長）水沢公園に新医療センターを建設する計画は凍結しました。 ・現在は、地域の医療関係者と連携し、奥州市全体の医療のあり方を検討している段階であり、どこに何を建てるか等の結論は出ておりません。 ・（健康こども部参事）前計画における調査費等として、測量業務に約1,600万円、地質調査に約1,400万円、合わせて約3,000万円を支出しております。 ・（健康こども部長）基本設計委託の契約解除に伴う経費については、これから事業者側と協議して決定するため、現時点では未定です。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
65	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・合併から20年近く経つが、地域の一体感が醸成されていないと感じる。 ・十数年停滞している総合水沢病院の問題は、そろそろ決着をつけてほしい。市長選の結果は、新医療センターを建設しないという民意の表れと捉えている。最終的には総合水沢病院を無くす方向で進めてはどうか。 ・医師会の意見だけでなく、市民との懇談の場も設けてほしい。	・地域の一体感醸成は重要な課題です。 ・まず、現存する総合水沢病院の安全性を確保することが市の責任であり、耐震性の検証などを早急に行う必要があります。 ・将来の医療のあり方については、県立胆沢病院を核とし、地域の医療機関が連携する体制を、関係者と集中的に協議している最中です。 ・市長選で示された民意は多様であり、単に「病院が不要」というものではなく、「地域の医療をしっかり整理してほしい」という思いの表れと受け止めております。なるべく早く方向性を示せるよう努めております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
66	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・選挙期間中の討論会において、市長は、医療センターを建設すると夕張市のように財政破綻すると発言したが、医療施設建設で破綻した自治体はあるのか。 ・計画を凍結すれば建設費は高騰するが、どう考えているか。代替案がないまま計画を凍結したのか。	・夕張市の例は、身の丈に合わない過度な投資を行えば財政が持たなくなるという趣旨で発言しました。 ・計画の凍結は、いたずらに時間をかけるためではありません。半年間で方向性を示すべく、医療関係者と集中的に協議しており、これをやり遂げなければならないと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
67	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	1	地域医療提供体制の確保と在宅医療・介護連携の推進	・総合水沢病院の議論は10年以上尽くされてきたと感じる。これ以上ぶれることなく、前進させていただきたい。	・ぶれないように、市民としっかりと対話しながら進めていきたいと考えております。 ・市全体として「住み続けたい」と思えるまちづくりを目指しており、市民の皆様のご協力をお願いいたします。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
68	当初案	76～77	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	2	市立医療機関の持続可能な体制構築	・とある医師から、市立病院の経営が5年後には給与も払えないほど悪化していると聞いた。その医師は市に情報を公表すべきと訴えているが、市が公表しないのはなぜか。	ホームページにおいて市立医療施設の決算にかかる資料及び経営分析に関する資料を公表しております。今後も経営状況の公表の仕方を工夫し、市民の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
69	当初案	76～77	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	2	市立医療機関の持続可能な体制構築	・市民参加による医師確保 ふるさと納税を財源に医師への謝金を積み立てるなど、市民・企業が一体となった「市民総参加」の運動を展開し、医師確保に取り組むべきである。	関係部署と情報を共有し、今後の取組の参考としたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
70	当初案	75～77	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	－	－	・分野３「健康・福祉分野」の内容が市立医療機関に偏っており、市の総合計画としては不十分である。 ・市民の医療を語る上では、市立医療機関のシェアは低いため、県立病院等を含めた医療圏域全体で捉える必要がある。	・資料では市が果たすべき役割として市立医療機関の施策を挙げましたが、その前提として、県立病院や民間医療機関を含めた地域医療提供体制全体で市民の健康を守るという考えです。 ・いただいた意見を踏まえ、計画全体で調整していきたいと考えております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
71	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	－	－	医師不足の現状で、政策名を「医療の充実」と表現するのは違和感があり、「維持」が実態に近いのではないか。	小児科・産科だけでなく、今後の高齢者増に対応するための地域医療全体の体制強化が必要なため「充実」という表現を使用しております。	C:修正案に反映させないもの	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
72	当初案	75	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	2	医療の充実	－	－	・市内の産科・小児科が減少し、子育て世代が不安を感じている。この医療環境の改善に関する施策を計画に盛り込むことはできないか。	（教育振興基本計画では、政策2－1のみの抜粋であり、政策3－2に記載）	C：修正案に反映させないもの	関係団体
73	当初案	78	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	3	地域福祉の推進	1	地域福祉活動の支援	・P78の課題に挙がっている認知症や8050問題などは、制度の狭間にあり、自治会レベルでは対応が困難。これを掘り起こし、専門機関につなぐのがコーディネーターの役割であり、民生委員の負担軽減にもつながる。この「奥州市型の地域福祉モデル」の考え方を計画にしっかりと反映してほしい。	奥州市型の地域福祉モデルの考え方を踏まえ、奥州市地域福祉計画及び地域福祉活動計画と軌を一にしながら、施策を展開してまいります。	B：同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
74	当初案	79	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	3	地域福祉の推進	1	地域福祉活動の支援	・P79「地域福祉活動の支援」の成果指標について、掲載されている「にこにこネット地域協力者数」等は実績値が年々減少している。実績が下がっている指標を掲げるのではなく、現在市と社協が協働で進めている、新しい地域福祉モデルを反映した指標を採用すべきである。 ・現在は、セーフティネット会議、ご近所福祉スタッフ、民生児童委員、地域福祉コーディネーターの「4者連携」で課題解決を進めるモデルへの転換期にある。昨年度から11名の重層的支援コーディネーターが配置されたことが大きな変化であり、彼らの活動が反映される指標、例えば向上傾向にある「セーフティネット会議の実施率」や、より活動の実態を示す「地域福祉コーディネーターのアウトリーチ件数」、「地域生活支援のコーディネート実施件数」などを採用してほしい。	・指標の掲載については、総合計画が市民全体に向けたものであることから、分かりやすさを優先して選定した側面があります。 ・いただいたご意見を踏まえ、より施策の成果を的確に表す指標があるとすれば、採用を検討していきたいと考えております。	C：修正案に反映させないもの	関係団体
75	当初案	78~80	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	3	地域福祉の推進	－	－	・障がいを持つ子どもの「親亡き後」の支援、特に親が亡くなった後の生活や金銭面（保険利用後など）について、高齢の親御さんから非常に強い不安の声を多く聞く。こうした課題に対応する施策を計画に反映させていただきたい。	・「親亡き後」の支援については、貴重なご意見として承り、今後の計画策定の参考にさせていただきます。	D：その他、要望・意見・感想等	関係団体
76	当初案	78~87	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	3	地域福祉の推進	－	－	・今回の計画見直しに当たり、8年前の計画から何がどう変わったのか、どの項目が新たに追加され、どの項目が削除されたのかなど、変更点を市民に明確に説明できるようにしてほしい。そうでなければ、計画が何も変わっていないように見えてしまう懸念がある。	・基本的には現行の個別計画と矛盾が生じないよう整理しました。いただいたご意見を踏まえ、変更点や新しい視点をより分かりやすく示せるよう、修正案の作成に努めたいと考えております。	B：同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
77	当初案	78~80	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	3	地域福祉の推進	－	－	・めざすべき都市像のキーワード「協働」「循環」「つながり」に、より明確に地域共生社会の理念を反映してほしいと思っていた。P78の施策の現状と課題に「地域共生社会の実現」が明記されている点は評価したい。	ご意見・ご要望等として承ります。	D：その他、要望・意見・感想等	関係団体
78	当初案	82	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	4	高齢者福祉の推	1	高齢者の生活支援	・P82の生活支援コーディネーターの指標も、単なる「地域資源の把握件数」ではなく、一歩進んだ「資源の掘り起こし」や「マッチング」といった、活性化につながる活動を示す指標が望ましい。	・指標の掲載については、総合計画が市民全体に向けたものであることから、分かりやすさを優先して選定した側面があります。 ・いただいたご意見を踏まえ、より施策の成果を的確に表す指標があるとすれば、採用を検討していきたいと考えております。	C：修正案に反映させないもの	関係団体
79	当初案	81	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	4	高齢者福祉の推	1	高齢者の生活支援	・買い物困難者は中山間地だけでなく、市街地でも問題になっている。一方、市街地の中心部（大町、横町など）には集会所がなく、高齢者が集まる場所がない。地域活性化のためにも、メイプルの地下を、テナントだけでなく周辺の自治会が利用できるよう開放してほしい。	・メイプルの活用については、現在担当部局で検討を進めている段階であり、しかるべき時期に方針が示されるものと認識しております。地域の拠点に関する貴重なご意見として承ります。	D：その他、要望・意見・感想等	関係団体
80	当初案	81	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	4	高齢者福祉の推	1	高齢者の生活支援	・認知症啓発の映画上演会が満員で入れなかった。市民の関心は非常に高いので、認知症対策に関する予算の拡充を要望する。 ・地域で重要な役割を担っている社会福祉協議会の活動に対しても、予算の拡充を要望する。	・（市長）認知症対策への関心の高さを認識しており、今後も情報発信や啓発の機会を作っていきたいと考えております。 ・社会福祉協議会とは今後も連携し、市民が安心できる地域づくりに取り組んでいきたいと考えております。 ・（福祉部長）映画会が満員となった件については、ご迷惑をおかけしました。来年度以降は会場の規模などを十分に配慮したいと考えております。 ・社会福祉協議会とは、「断らない相談窓口」の設置などで連携を強化しており、今後も意思疎通を図りながら対応していきます。	D：その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
81	当初案	81	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	4	高齢者福祉の推	1	高齢者の生活支援	・P81「高齢者地域生活サポート事業」に関連して、高齢者の外出支援、特に買い物や医療機関への通院といった移動手段の確保は、ニーズが非常に高い。免許返納後の交通対策を、具体的な施策・事業として計画に明確に位置づけてほしい。	・移動手段の確保は、高齢者福祉、公共交通、地域づくりなど、複数の分野にまたがる複合的な課題と認識しており、それぞれの施策の中で連携して対策を検討していきたいと考えております。	D：その他、要望・意見・感想等	関係団体
82	当初案	82~83	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	4	高齢者福祉の推	2	介護予防の推進	・健康寿命の延伸 「未病対策」や「MCI（軽度認知障害）対策」として、食・運動・社会参加・温泉療法などを推進し、市民の健康寿命を延ばすことで、真の介護予防と介護保険財政の健全化を図るべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D：その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
83	当初案	83	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	4	高齢者福祉の推	3	介護サービスの整備	・P83「介護職員初任者研修受講料助成事業」について、助成制度は良いが、そもそも資格取得を目指す受講者をどう掘り起こすのか、その入り口の部分の取組も計画に盛り込んでほしい。	・人手不足、担い手不足は介護分野に限らず、あらゆる分野で喫緊の課題と認識しております。ご指摘のとおり、分野に関心を持ってもらう入り口の部分の取組が重要であると考えております。	D：その他、要望・意見・感想等	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
84	当初案	85~87	3	アクション プラン	2	分野別計画	3	健康・福祉分野	5	障がい者福祉の推進	–	–	・障がい者福祉について、就労支援など施設利用者を対象とした施策は記載があるが、在宅の障がい者や、病気や事故による中途障がい者向けの施策が見当たらない。当事者の親として、計画が目指す「住みよいまち」の姿が具体的に見えてこない。	・施策「障がい者に優しい地域づくりの推進」には、在宅の障がい者や中途障がい者も含んだ意味合いとなっています。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
85	当初案	90~91	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	1	農林業の振興	3	消費者から支持される農畜産物の生産力の強化	・施策にある「消費者から支持される農畜産物」とは具体的に何か。スマート農業より、米価下落に対する直接的な支援の方が農家にとっては有益ではないか。	・「消費者から支持される農畜産物」とは、生産施設や機械導入への支援、栽培技術向上支援などを通じて、産地間競争に勝ち抜けるような生産力強化を目指すという意味合いです。農業振興の観点も重要であり、生産者への支援も並行して進めます。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	市政懇談会
86	当初案	94~95	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	2	商工業の振興	1	商業の振興	・百貨店等の商業施設が乏しい現状で子育て支援をうたっても、移住には繋がりにくいのではないか。商業施設の誘致も考えるべき。	いただいた意見は関係課で共有いたします。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
87	当初案	94~95	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	2	商工業の振興	1	商業の振興	・まちの中心機能の創出 旧商業施設「メイプル」を拠点に、コンパクトシティの考え方で市街地と公共交通網を整備し、賑わいと交流人口の増加を図るべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
88	当初案	94~95	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	2	商工業の振興	1	商業の振興	・複合拠点施設の整備 「メイプル」に保健・福祉・子育て支援・図書館・交流スペース・商業施設・バスターミナルなどの都市機能を集約し、ワンストップサービスが可能な複合拠点として再整備する。プラネタリウムの設置や自動運転車両の導入も提案する。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
89	当初案	97	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	2	商工業の振興	4	企業誘致の推進	・奥州スマートICを活用した企業誘致を進めてほしい。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
90	当初案	101~ 102	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	3	観光物産の振興	3	観光物産関係団体との連携と受入環境の充実	・ふるさと自然塾の今後の活用（ソフト面）について、交流人口・関係人口の拡大に繋げる視点から、市の考えを伺いたい。	・（市長）あの場所のロケーションは素晴らしく、人が集まる拠点としてのニーズは高いと認識しております。そのポテンシャルを活かせるよう検討したいと考えております。 ・（商工観光部長）現在は市直営ですが、今後は指定管理者制度など民間活力を導入し、さらなる魅力向上を図ることも選択肢として検討しております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
91	当初案	101~ 102	3	アクション プラン	2	分野別計画	4	産業・経済分野	3	観光物産の振興	3	観光物産関係団体との連携と受入環境の充実	・観光産業の強化 新たな観光振興計画を策定し、外国人観光客の誘致や、記念館等の人文資源を観光の観点から積極的に活用すべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
92	当初案	107~ 113	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	1	生活環境保全と資源循環の推進	–	–	市が守るべき自然環境や、「ネイチャー・ポジティブ（自然再興：自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。）」の観点について、総合計画に位置付けることはできないのか。	生物多様性の保全など踏み込んだ取組は、まず大規模な調査が必要であり、現状では予算的に難しいです。県の計画との役割分担もあります。 ・総合計画では、具体的な事業化が見込めるものを中心に掲載しております。里山保全などについては、環境分野だけでなく農林業分野の施策で関連する部分があります。	C:修正案に反映させないもの	関係団体
93	当初案	107~ 113	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	1	生活環境保全と資源循環の推進	–	–	分野別計画の成果指標から具体的な数値目標をなくした意図は、理解できる。一方で、PDCAサイクルが本当に機能するのか懸念がある。	・成果指標については、従来の数値目標設定が形骸化する課題があったため、方向性を示し継続的に進捗を確認する手法に見直しました。実態に即したPDCAサイクルを回していきたいと考えております。 ・総合計画では全体の方向性を定め、個別計画である地球温暖化対策実行計画において、具体的な数値目標を定めるという補完関係となっております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
94	当初案	116~ 117	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	4	鳥獣被害の抑制	1	クマ出没対策の推進	・クマ対策について、誘引となる果樹の伐採が進んでいないように感じる。市の全体的な対策は。	今年度は、昨年度被害のあった柿・栗・クルミの木について、所有者に意向確認行ったうえで市が伐採しております。それ以外の市全体の誘因果樹への対策については引き続き検討してまいります。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
95	当初案	116~ 117	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	4	鳥獣被害の抑制	–	–	・成果指標の中には、指標と課題、施策との因果関係がずれているものがあるのではないか。 ・例えば、鳥獣被害対策の成果指標が「被害額」となっているが、生産条件不利地域では農業従事者の減少に伴い、対策の有無にかかわらず被害額は自然と減少する可能性があり、実態を正確に反映できないのではないか。 ・指標の数値だけを追うと本質を見失う可能性があるため、指標の設定は慎重に行うべき。	鳥獣被害対策については、奥州市鳥獣被害防止計画や国の鳥獣被害防止総合対策交付においても「被害額」の数値により評価が行われておりますことから、同様に成果指標として設定したところです。ご指摘のとおりその他の要因が数値に影響を与える場合もありますので、要因の分析を行いつつ、数値とは別にそれらを踏まえた評価を行っていきたいと考えております。	C:修正案に反映させないもの	関係団体
96	当初案	120~ 121	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・防災対策として、古戸地区の総合支所等を含む広範囲が土砂災害危険区域に指定されている。上流のため池が決壊すれば被害が拡大する懸念があるが、県はため池を把握していなかった。対策を計画に盛り込むべき。	ご意見として承り、関係機関等と情報共有してまいります。	C:修正案に反映させないもの	地域会議

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
97	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・台風災害時、ペットを理由に避難しない住民がいた。ペットも一緒に避難できる避難所の整備が必要。 ・夜間の火災時、耳が遠い高齢者が避難に気付かなかった。平時から近隣の人間関係を把握し、いざという時に知り合いが声掛けできる体制が重要。	・ペット同行避難については、今年度の市総合防災訓練で試験的に実施しました。年度内に成果・課題を取りまとめ、獣医師会等と連携して検討を進めております。 ・要配慮者の避難については、福祉課が主体となり「避難行動要支援者名簿」を整備中です。地域の中で誰が支援するかを民生委員等と協力して整理しております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
98	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・災害派遣福祉チーム（DWAT）の支援対象が在宅避難者等にも拡大している。福祉避難所やボランティアセンター等とも連携した、より総合的な訓練が必要。 ・防災士の登録者数増に向け、資格取得費用の助成対象を自主防災組織リーダー以外にも拡大するなど、市民が登録しやすい制度を検討してほしい。	・関係団体と連携した、より実効性のある訓練の必要性を認識しており、今後検討していきます。 ・防災士の資格取得助成については、現在の対象者以外への支援についても今後検討したいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
99	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・8月の大雨の際、防災気象情報のレベル3が発表されても地区センターの避難所が開設されておらず、避難を断念した高齢者がいた。 ・避難経路の整備が不十分な箇所がある。また、避難所における駐車場の確保（旧学校施設の活用等）も課題。	・防災気象情報レベル3が発令されても、直ちに避難所は開設されないことにご理解願います。 ・避難所の開設は、市が被害の拡大等を総合的に判断して避難指示等を発令した場合に行います。危険が想定される場合は、住民から市へ連絡をいただければ、速やかに開設を検討・対応いたします。 ・駐車場の不足は市全体の課題と認識しており、今後検討したいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
100	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・障がい者向け講座を実施したが、視覚・聴覚障がい者への情報伝達や、外見では分かりにくい障がいへの配慮に課題を感じた。 ・防災訓練への参加意識に地域差があり、特に「助ける側」となる若い世代の参加が少ないことが課題。	避難所での要配慮者への対応については、市の運営マニュアルにも盛り込んでいきたいと考えております。「ヘルプマーク」の周知・活用もお願いしたいです。 ・若い世代の参加促進は市の課題でもあります。子ども向け防災教室などを通じて、保護者世代への啓発も図りたいと考えております。 ・市防災訓練実施の際、地区振興会との協働により、若い世代の参加を促す工夫をしていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
101	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・防災に関心のない層にアプローチするため、文化祭などの学校行事の場で防災に関する発表の機会を設けるなど、既存の集まりを活用することが効果的ではないか。	・参考になるご意見であり、学校行事でのブース出展や、地区運動会での防災関連種目の導入事例紹介などを検討したいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
102	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・来日して間もない外国人など、災害時に情報弱者となりうる住民への支援体制や、地域との情報伝達方法を検討してほしい。	・「やさしい日本語」での情報発信は実施しておりますが、周知が課題です。雇用主である企業等と連携した情報伝達も検討していきます。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
103	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・8月の大雨に関し、下流の一関遊水地をより早期に活用するなど、被害を軽減するための広域的な連携（国・県との連携）を強化してほしい。	・いただいた意見は庁内で共有し、国・県への要望等につなげたいと考えております。遊水地の運用については、供用が開始されたばかりであり、今後の改善に期待しております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
104	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・アパート住民や外国人など、自治会に加入していない世帯を防災活動にどう巻き込むかが地域での課題となっている。 ・防災意識の低い地区リーダーへの働きかけや、高校生など若年層の防災士育成も必要ではないか。	・ハザードマップの活用について、学校の自由研究で取り上げるなどの意見がありました。市としても、学校で備蓄品を使った防災講座を実施しており、今後も展開していきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
105	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・奥州市は災害が少ない安全な地域であることを、もっとPRすべきではないか。	いただいた意見は関係課で共有いたします。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
106	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・国の防災庁創設に合わせ、市として防災体制の強化など、何らかの取組を計画しているか。 ・防災拠点構想を長期ビジョンに盛り込んではどうか。個人的には水沢公園が適していると思う。	・（市長）水沢公園が150周年を迎えるのを機に、公園の再整備構想の中で、避難所や物資保管といった防災機能を持たせることを検討しております。 ・（市民環境部長）防災庁の設置に直接的に合わせて、市として独自の取組を計画していることは現時点ではありません。 ・常日頃から、市民の防災意識の向上や関係機関との連携強化に取り組んでおり、今後も地域の防災力向上に努めていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
107	当初案	120～121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	1	災害対応力の強化	・防災対策の強化とPR 「自然災害の少ないまち」であることを市の魅力としてPRする一方、地震対策として、旧耐震基準住宅への耐震補助制度を拡充すべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
108	当初案	121	3	アクションプラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	2	消防体制の強化	・総合計画アクションプランの「災害に強いまちづくりの推進」について、消防団員の確保の取組が「自動車運転免許取得事業」のみの記述では不十分である。 ・団員数は合併当初から大幅に減少しており、人員の補充・充足について、市としてより真剣に取り組んでほしい。	・消防団員の確保は困難な問題であり、消防団強化ビジョンを策定し、現在、消防団組織の再編を検討しているところです。 ・組織のあり方を検討した上で、団員確保の取組も併せて検討していきます。ご指摘はもっともであり、引き続き検討を進めたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
109	当初案	121	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進の推進	2	消防体制の強化	・消防体制の強化について、消防職員の増員で対応するのか、消防団の充足を図るのか、具体的な方針を伺いたい。 ・災害が甚大化する中、自分の地区には消防団員がいない。早急な対応を求める。	・消防署については広域で運営しており、市として責任のある負担を行ってまいります。消防団については、定員の見直しは行いましたが担い手不足は深刻であり、強化策を進めております。 ・近年の災害状況を踏まえ、消防団のみならず、自助として日頃から危険個所の確認や備蓄品等の準備、共助として自主防災組織とも連携した地域防災力の向上が必要と考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
110	当初案	120	3	アクション プラン	2	分野別計画	5	環境・安全・防災分野	6	災害に強いまちづくりの推進	－	－	災害時、保育施設が福祉避難所などセーフティーネットとしての役割を担うケースがある。特に、障がいのあるこどもなど、一般の避難所での生活が困難な要配慮者への対応として、保育施設の活用も計画に位置づけてはどうか。	まずは第一次収容避難所の機能充実を優先しますが、災害時要配慮者の視点は重要と認識しております。保育施設が地域にとって有用であれば、手段の一つとして検討の余地はあると考えております。	C:修正案に反映させないもの	関係団体
111	当初案	127	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	2	住生活の安定と向上	2	空き家対策の推進	・人口減少と高齢化が著しい地域では、空き家の増加や、管理されない山林の樹木が道路にはみ出し危険な状況など、課題が山積している。 ・生活維持だけでも負担が増大するため、国に強く働きかけてほしい。	・（市長）空き家問題は市全域の課題であり、一つの自治体で対応できる範囲を超えております。空き家バンクは機能しておりますが追いつかない状況であり、国や県と連携して取り組んでまいります。 ・（市民環境部長）今年度、空き家対策計画を見直し、次期計画に着手いたします。従来の対処療法的な対策に加え、「空き家にさせない対策」に重点を置くとともに、民間事業者等と連携して進めたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
112	当初案	132～ 133	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	4	効率的な汚水処理	1	汚水処理の普及・接続の推進	・下水道は、普及率は高くても実際に各戸で接続が進んでいない。接続義務を履行しない世帯への対策（ガイドライン策定等）を検討すべき。	・下水道の接続義務については昔からの課題ですが、罰則規定を設けるのは難しいです。接続を促すための補助金制度を創設しましたが、高齢者世帯の経済的理由などもあり、引き続き検討が必要な課題と認識しております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
113	当初案	132～ 133	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	4	効率的な汚水処理	1	汚水処理の普及・接続の推進	・高齢者の見守り支援として、便の状態から健康状態をチェックできるトイレの設置に補助金を出すなどの施策はどうか。	・見守りという観点では、水道のスマートメーター活用等も考えられます。福祉分野とも関連するため、関係部署と横断的に検討していきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
114	当初案	136	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	6	地域特性を活かしたまちづくりの推進	2	都市機能の適切な維持・誘導	・市全体で考えた場合、中心市街地が栄えなければ、全体の活性化にはつながらない。若者の市外流出を防ぐためにも、中心市街地の整備に力点を置くべきではないか。	・水沢公園の再整備や江刺地区の市街地活性化など、商工観光部と都市整備部が連携して検討を進めております。 ・アクションプランには、予算化された具体的な事業名を記載し、実効性を高めていく方針です。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
115	当初案	138～ 139	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	7	持続可能な公共交通体系の維持	1	公共交通ネットワークの最適化と利便性向上	・路線バス廃止に伴い導入された地区内交通は、水沢方面へ行く際に乗り換えが必要で不便である。直行便の運行など、利便性向上に向けた見通しについて聞きたい。	・地区内交通は、民間バス事業者の路線維持が困難な状況下で、路線バスと役割分担する形で導入されました。今後も後退することなく、国の支援策も活用しながら、利用者と事業者の双方が成り立つ、より使い勝手の良い仕組みを検討していきます。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
116	当初案	141	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	8	デジタル社会の構築	1	行政のDX推進	・ 市民が行政の仕組みを理解していなくても、一度の相談で必要な支援につながる「ワンストップ型行政サービス」の構築を提案する。 ・ 市民は総合相談窓口に相談するだけで、その後の担当部署の特定や連携は行政内部で行う「市民には1手で済む行政」を目指すこと。 ・ワンストップ化による行政内部の業務増加に対しては、市民に負担を戻すのではなく、必要なサービスを提供するために人員を確保することも行政改革と位置づけること。 ・行政DXの目的は、単純な人員削減ではなく、定型業務を効率化し、職員が相談や支援といった専門的な業務に集中できるようにすること。 ・行政サービスを充実させるための人材を地域で採用・育成し、雇用創出から地域経済の活性化、定住促進へとつなげる好循環を生み出すこと。 ・人口減少対策は、移住促進だけでなく、現在の市民が「住み続けやすい」と感じる環境を整備することを重視し、生活上の課題を横断的に解決すること。 ・まず生活困窮や就労など複数部署が関係する分野から試験的に導入し、効果を測定しながら段階的に拡大していくこと。	市では、「第二次奥州市DX全体方針」に掲げるフロントヤード改革の一環として、住民窓口におけるワンストップ窓口について、その可能性や課題の整理等を行っています。いただいたご意見は、今後の行政サービスのあり方を考える際の参考といたします。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
117	当初案	141	3	アクション プラン	2	分野別計画	6	都市基盤・地域情報化分野	8	デジタル社会の構築	2	デジタル社会の基盤づくり	・行政のDX推進には、フリーWi-Fi等のネットワークインフラ整備も必要ではないか。	・フリーWi-Fiについては、一部の公共施設や観光施設に整備していますが、地域により情報通信環境に差があると認識しています。本計画では、既存の公衆無線LAN環境を維持するとともに、未整備の施設を中心に拡充に努めることとしています。	C:修正案に反映させないもの	地域会議
118	当初案	52、64	3	アクション プラン	2	分野別計画	1 2	協働・生きがい分野 学校教育・子育て分野	4 1	生涯学習の推進 学校教育の充実	4 4	スポーツ活動の支援 健やかな体の育成	・部活動について、健康増進や競技力向上だけでなく、「人づくり」に貢献する重要な活動であるという視点を計画に盛り込むべきではないか。	部活動については、スポーツ部門だけでなく芸術文化部門もあることから、総合的に判断し、盛り込むべきか検討していきたいと考えております。	C:修正案に反映させないもの	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
119	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・少子化対策は計画のどこに位置付けられているのか。分野別計画には見当たらない。 ・奥州市の人口目標を何人に置くのか。検証のためにも目標値は必要ではないか。 ・少子化対策を最重要施策として項目を立て、明確に位置付けるべきではないか。	・少子化対策は、結婚支援等の形で各施策に盛り込んでおりますが、「少子化対策」として独立した項目立てはしておりません。 ・人口目標については、市の人口ビジョンを見直しており、2060年に6万5千人弱という目標をお示ししております。現状の施策のままではもっと低くなりますが、各種施策を講ずることで人口目標の達成を目指します。 ・人口減少対策については、総合計画アクションプランと一体化させ、バラバラだった事業をまとめて見やすくしたいと考えております。いただいた意見を踏まえ、分かりやすい形を検討いたします。	B：同趣旨あるいは記載済のもの	地域会議
120	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・対策を立てれば人口減少に対応できる可能性がある地域も存在する。全地域を一律に捉えず、衣川の発展軸構想のような個別具体的な提案を理解してほしい。 ・特定の室を設けないことは正しい。特定の室を設けると、そこだけの仕事になってしまい、全庁的な取組になり得ない。 ・（資料を提示し）総合計画に、縦軸（部課別課題）と横軸（全庁的課題）のマトリクス構造を導入し、定住計画や過疎対策などを全部署が関わる横断的課題として取り組むべきと提案。	・分野横断的な視点はそのとおり大事であり、市役所の中でそうした視点が足りないのは課題と認識しております。「うちの課の仕事ではない」というようなことがあってはなりません。提案されたものがそのままの形になるかはさておき、その考え方は我々も持っているものであり、総合戦略を推進する上で本来やるべき視点だと考えております。	B：同趣旨あるいは記載済のもの	地域会議
121	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・人口減少対策として、企業誘致や教育（学力向上など）にどう取り組むのか。	・人口減少には何としても抗いたいと考えております。企業誘致による転入促進や、住む場所として選ばれるための教育環境の整備など、総合的な施策をスピード感をもって実行していきます。	B：同趣旨あるいは記載済のもの	市政懇談会
122	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・都市像を実現するための重点プロジェクト、例えば「リーディングプロジェクト」のようなものは掲げているか。旧市町村の地域振興を望む声は根強く、胆沢としては奥州湖周辺プロジェクトに期待している。計画の柱となるようなプロジェクトをどう位置付けているか考えを聞きたい。	・現行計画のような特定のリーディングプロジェクトを明示的に掲げる予定はありません。分野横断的な重点施策として「人口減少対策としての総合戦略」を位置づけております。個別の重点事業は、今後の予算編成過程で示していくことになります。	C：修正案に反映させないもの	地域会議
123	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・総合戦略に掲げる人口減少対策について、実現に向けた具体的な実施体制・組織体制はどうするのか。 ・衣川地域会議から提言してきた「発展軸」構想について。旧衣里幼稚園跡地の活用など、人口減少を踏まえた発展策をどこで誰が議論するのか。 ・部課長レベルで人口減少対策の共通認識を持ち、事業を練り上げる必要がある。定住促進の観点から発展軸の事業化を検討してほしい。	・人口減少対策室のような特定の組織を立ち上げる予定は今のところありません。必要に応じて部署間の連携で対応していきます。 ・旧幼稚園跡地については、現時点では具体的に次の活用をどうするかははっきりと言えません。いただいた意見は持ち帰り、関係課にこういう話があったことは伝えたいと考えております。 ・定住対策は、住宅取得補助や空き家バンク等の既存施策に加え、住宅造成なども含めて総合的に検討を進めたいと考えております。	D：その他、要望・意見・感想等	地域会議
124	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・衣川の人口減少は市全体の倍のスピードで、最大の課題。このままでは30数年で地域が消滅する。 ・衣川を人口減少対策の「特定地域」と位置づけ、発展軸と子育て支援を組み合わせた総合的な対策を計画に盛り込むべき。	・衣川の人口減少についてはおっしゃるとおりと認識しており、今後の定住や生活機能の維持を図る上で、一定のエリアを意識した地域づくりが必要だと考えております。 ・計画は市全体の方向性を示すものですが、総合戦略の中で「過疎地域」「中山間地域」といった形で、地域ごとの特性に応じたまちづくりの方向性は示しております。いただいた意見（衣川の課題）については、なるべく分かりやすい形で示せるか検討したいと考えております。	D：その他、要望・意見・感想等	地域会議
125	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・総合戦略の基本目標3「多様な人々にとって魅力が感じられるまちづくりの推進」のイメージが分かりにくいため、具体的に説明してほしい。 ・移住定住の促進には、市の魅力づくりが重要。SNS等の新しい媒体も活用し、時代に合った具体的な魅力発信の施策を実行すべきではないか。	・基本目標3は、子どもたちの郷土愛（シビックプライド）の醸成や、市外の人から移住先として選ばれるための関係人口創出といった、人口減少対策に特化した取組を指します。 ・魅力づくりは重要であり、住環境、教育、医療等も含めトータルで取り組む必要があります。いただいた意見は庁内で共有し、施策に反映できるよう検討したいと考えております。	D：その他、要望・意見・感想等	地域会議
126	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・若い世代の目線では、若者が「来たい」「住みたい」と思えるようなイベントや施設、店舗があれば人が集まると思うので、検討してほしい。	・若者が集まれる場所が欲しいという意見は他でもいただくため、重要な課題と認識しております。 ・厄年連のような、地元を離れた若者が帰ってきて地元の良さを再認識する活動は貴重であり、継続できるよう支援していきたいと考えております。	D：その他、要望・意見・感想等	地域会議
127	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・計画内容は立派だと思うが、近年の人口減少は著しく、今後も加速するのではないかと危惧している。 ・子育て支援を計画しても、そもそも子育てをする人がいなくなるという本末転倒な事態も考えられる。 ・計画策定で終わりではなく、4年ごとの見直しなどで、環境の変化に合わせて常に現状に即した対応をしていくことが重要ではないか。	・計画策定に当たり人口ビジョンも見直しを行いました。現状のままでは2060年に人口が約5.7万人に減少すると推計しております。 ・出産支援や、市外へ転出した若者のUターンを促す施策等により、2060年の目標人口を約6.5万人とすることを目指しております。人口減少という現実を踏まえながら施策を検討しております。	D：その他、要望・意見・感想等	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
128	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・KPI（成果指標）の評価（良かった・悪かったの判断）はどのように行っているのか。また、KGI（重要目標達成指標）は設定されているのか。 ・若い世代が参加した未来デザイン会議は非常に良い取組だった。1回で終わらせず、継続してほしい。	・KPIの評価は、担当課での判断を基に、総合計画審議会や市議会決算審査の場でご意見をいただいております。 ・KGIは設定しておりませんが、それに代わるものとして「状態指標」で政策対象全体の状況を把握するという考え方です。未来デザイン会議については、いただいた意見も踏まえ、今後の参考にしたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
129	当初案	143～147	3	アクションプラン	3	第3期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略	－	－	－	－	－	－	・奥州市は人口減少や高齢化、交通網の崩壊、商店街の衰退など、すでに「過疎の現象」を呈しており、このままでは市全体が過疎地域になるという強い危機感がある。 ・第3次総合計画は、この「過疎市化」を回避するための計画であるべきである。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	ホームページ 個人意見
130	当初案	148	4	自治体経営	2	財務マネジメント	－	－	－	－	－	－	・第４編「自治体経営」のうち、財務マネジメントについて、市職員以外の第三者による評価は入らないのか。 ・財務に関しては、議員や市職員だけでなく、公正な目で評価できる第三者が立案に関与すべきである。	・「自治体経営」は今回の計画で新たに追加した項目です。 ・評価については、議員など外部の視点を入れながら進めることを考えております。 ・いただいた意見は、今後の検討に活かしたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
131	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・本計画は行政のためだけでなく、市民が自発的に行動するための分かりやすい指針とすべき。 ・環境やAIといったテーマは、特定の分野に限定せず、全ての分野の根幹に関わるものとして計画に位置付けるべき。 ・脱炭素は持続可能なまちづくりに必須であり、市としての意気込みを示すためにも、総合計画に明確に位置付けるべき。 ・教育分野への働きかけは重要。環境教育は市の魅力への気づきや移住定住にもつながり、農業など他分野との連携（地産地消の給食等）も図るべき。 ・市民が「奥州市に住んでいてよかった」と夢を持てるような計画にしてほしい。市民の暮らしに余裕が生まれることが、環境問題等への関心にもつながる。 ・イラスト等を活用し、市民に分かりやすい見せ方になるよう工夫してほしい。	・総合計画は、行政のみならず、市民や事業者等にも関わる本市の最上位計画として位置付けております。 ・計画の期間や構成を見直し、社会情勢の変化に柔軟に対応できる機動性を持たせました。 ・当初案の時点では文章が多い構成となっておりますが、最終案までに見せ方を工夫したいと考えております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	関係団体
132	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・第2次総合計画から第3次総合計画への継続性や繋がりが分かりにくい。	・第2次計画の総括を踏まえて第3次計画を策定しており、継続性は担保しております。今回は市長任期と計画期間を連動させ、より実効性の高い計画を目指す形に見直しました。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	市政懇談会
133	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・第2次総合計画の「住んでいて良かったと思えるまちづくり」について、どのような成果があったのか。むしろ環境は悪くなったと感じる。第2次計画の成果検証なくして、第3次計画に進むべきではない。	・（市長）「住んでいて良かった」という声が市民から聞こえてこない状況は認識しております。職員と一丸となり、これからの奥州市をどう進めていくか検討しております。 ・（政策企画部長）第2次計画については、昨年度、施策ごとに総括・検証を行い公表しております。その中で明らかになった課題を第3次計画に活かす形で策定を進めております。	B:同趣旨あるいは記載済のもの	市政懇談会
134	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・「水と緑」を掲げているが、実際には手入れがされず「藪」になっている場所が目立つ。景観も含め、対策はできないか。	・人口減少や高齢化により、地域住民による環境整備（草刈り等）が困難になっている現実があります。行政で対応できる部分には限りがありますが、課題として認識しており、できる限り環境維持に努めたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
135	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・今後の市政懇談会も本日と同じ内容の説明か。農業や中心市街地の活性化について聞きたいが、まずは全体版を確認したい。	市政懇談会でも同様の説明となりますが、当日は各部長が出席するため、より専門的な質問にも答えられるかと思います。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
136	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・市民が市に提言をしても「他市町村を参考にさせていただく」という回答に留まり、具体的な進展が見えないとの声をよく聞く。第3次総合計画では、他市の模倣ではない、奥州市ならではの特色ある目玉事業を打ち出し、市民に希望や期待感を持たせるような計画にしてほしい。	・奥州市ならではの特色を求めるご意見は、他の意見交換会でもいただいております。市民の皆様に希望や期待感を持っていただけるよう、いただいたご意見を参考にしながら、計画づくりを進めていきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
137	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・前市長が掲げた「未来羅針盤図」に基づく羅針盤プロジェクト事業は、各地域に予算が分散してしまう印象があったが、この考え方は第3次総合計画にも引き継がれているのか。	・第3次総合計画においては、羅針盤プロジェクト事業という形では実施しないこととなりました。検討されていた個別の施策・事業については、関係する担当課が引き継ぎ、継続して検討し、又は実施しております。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
138	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・公共事業の発注について、急激な増減ではなく、各年度で平準化して継続的に発注してもらえると、業界としても経営計画や人員配置がしやすくなる。 ・建設業界は高齢化と担い手不足が深刻化しており、特に若い人材の確保に苦慮している。工業高校の生徒も進学志向が強く、地元に残るのは親の影響が大きいのが実情である。	・市外へ転出した若者が、将来的に地元へUターンするような施策にも力を入れていく必要があると認識しております。 ・人口減少を背景とした担い手不足は、産業構造、社会インフラ、地域コミュニティの各側面に波及し、深刻化しています。人口減少対策として重点的に施策を展開して参ります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
139	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・学校統合等で発生した空き公共施設について、市の活用方針や解体等の計画はどうなっているか。解体して更地になれば、活用の幅も広がるのではないか。	・解体には多額の費用を要するため、現状維持となっている施設が多いです。民間企業への貸し出しなど、利活用の希望があれば対応しております。 ・県有施設（旧胆沢高校など）についても、県は現状のままの利活用を基本としており、解体して更地にするという方針ではないようです。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
140	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・計画を立てるだけでなく、一つでも実行に移し、魅力ある奥州市を作ってほしい。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
141	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・県立工業高校の再編にあたり、前沢地域への誘致に力を入れてはどうか。	・工業高校の再編について、市のスタンスとして、県に対し、自治体間の誘致合戦は望ましくない、通うであろう子どもたちのことを第一に考えて場所を決めてほしいと伝えております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
142	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・行政区の半数近くが限界集落となっている。班長を市民活動総合補償制度の対象とすることや、行政区長の業務負担（働き方改革）、草刈り等の共同作業の負担軽減を検討してほしい。	・市民活動総合補償制度は、市民活動団体、自治会、行政区等が計画的・公益的に行う活動中のけがや、第三者に対する損害賠償責任を補償する制度です。事故が発生した場合は、その活動が制度の補償対象に該当するかを個別に確認するため、役職に就いていることのみをもって一律に対象とすることは困難です。また、自治会等の活動については、日常的な行為とは明確に区別され、自治会等が計画的に実施する市民活動であることを、客観的な資料（団体規約、実施要項など）により確認できる必要があります。 ・業務負担の軽減については、これまでも行政区長への充て職の見直し等を行っている。今後も引き続き業務負担の軽減に向けて検討を進めてまいりたい。 ・業務負担の軽減については、これまでも行政区長への充て職の見直し等を行っております。今後も引き続き業務負担の軽減に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。 ・草刈りについては、高齢化や草刈機を所有しない世帯の増加により困難になっていることは全国的な問題と認識しております。市としても危機意識を持っており、議会でも質問が出ております。引き続き検討している課題です。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
143	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・以前の提言に対する回答が「検討します」ばかりだった。今回の計画では検討で終わらせず、具体的な実行を伴うものにしてほしい。	ご意見・ご要望等として承ります。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議
144	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・昨年説明のあった江刺の文化ゾーン構想は継続しているのか。 ・当初の検討では若者から郷土芸能に関する意見も多く出ていた。そうした声も踏まえて引き続き検討してほしい。	・（市長）江刺市街地エリア開発プロジェクトのことと推察します。この計画は民間投資を前提としておりましたが、現状、投資に名乗りを上げる事業者がおりません。 ・ささらホールが休止となっている状況を踏まえ、プロジェクトのあり方を再検討しております。 ・プロジェクトはホールの代替だけでなく、ホテル誘致やコミュニティスペースの整備などを含む大規模なものでした。市の財政状況等も勘案しながら、実現可能な形を検討しております。 ・（政策企画課長）計画に登載する個別の事業は、当初予算査定後に確定し最終案に登載される予定です。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
145	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・地域住民は、ささらホールの代替施設を建設するという条件で閉館を了承した経緯があり、現状に納得していない。 ・これまで市が投じた調査費や市民の意見を活かし、行政と市民が一緒になって計画を進めるのが市長の掲げる「対話のまちづくり」ではないか。 ・これまでの取組を市としてどう評価し、今後どうするのか、公式な説明の場を設けてほしい。	・コンサルタントからの報告等も踏まえ、当初の計画をそのまま進めるのは財源的にも困難であると判断しております。 ・やれることから進めるという考えで、例えばホテルの先行誘致など、様々な可能性を検討しております。もう少し時間をいただきたいです。 ・年内に意見交換の場を設ける約束はできかねますが、市民の皆様の思いを受け止め、職員一丸となって検討を進めておりますのでご理解いただきたいです。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
146	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・市役所の職員が持つべき至上命題は何か。私は人口増加こそが至上命題だと考えている。 ・市長が旗振り役となり、職員、市民が一体となって人口増に取り組むべきだ。人が減れば財源も減る。人こそが宝だ。	・市の最大の課題は人口減少であると認識しております。私自身は、市役所は市民のための最大のサービス業であるという信念で臨んでおります。ご意見を参考にさせていただきます。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
147	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・耕作放棄地の増加に伴い、市道の草刈りをする人がいなくなり管理ができていない。動物の飛び出しなど危険も多い。 ・道路愛護活動に対する報奨金（１人200円）が安すぎる。増額できないか。また、申請手続を簡素化してほしい。 ・江刺地域を活性化し、水沢や北上に行かなくても用事が済むようなまちづくりを進めてほしい。	・市道の草刈りが地域の大きな課題であることは認識しております。報奨金の増額は厳しい財政状況から難しいのが現状です。 ・市で新たに草刈り機械を導入するなど、様々な手法を組み合わせて対応していきたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
148	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・市政は二元代表制。市長の考えだけで進めるのではなく、議会の意向も尊重しながら施策を進めてほしい。	・ご指摘のとおり、議会、そして市民の皆様と丁寧に対話を重ねながら計画を作り上げてまいります。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
149	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・人口が増加している北上市と比較し、奥州市は暗いイメージがある。市の未来像や具体的な目標達成時期が見えず、不安を感じる。	・人口減少対策として、市民に住み続けてもらい、市外から選んでもらえるようなまちづくりに取り組んでまいります。	D:その他、要望・意見・感想等	関係団体
150	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・老朽化が著しい大森分校について、歴史的価値を鑑み、安全な集会所・防災拠点として存続できるよう整備してほしい。昨年2月に要望書を提出したが、進捗状況はどうか。 ・ふるさと自然塾の水源が、近隣の森林伐採により大雨のたびに濁る問題について、市の対応を伺いたい。	・（商工観光部長）大森分校の今後のあり方については、関係各課で検討中であり、要望は確実に伝わっております。すぐには回答できませんが、継続して検討いたします。水源の濁りについては、原因とみられる伐採を行った県と対応を協議しております。 ・（協働まちづくり部長）大森分校の改修については、市の補助制度の対象外です。新築の場合は市の補助制度、またはコミュニティ助成（宝くじ助成）が活用できる可能性があります。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会

関係団体意見対応

【資料1-2】

No.	版	ページ	編	編名称	章	章名称	分野	分野名称	政策	政策名称	施策	施策名称	意見（概要）	回答	区分	意見提出者
151	当初案	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・現在パブリックコメントを募集している「犯罪被害者等支援条例案」について、相談料の交付、窓口の義務、目的外利用の禁止、第三者委員会の設置、罰則規定など、具体的な条文の追加を提案する。	・本日の懇談会のテーマは総合計画であるため、犯罪被害者支援条例については、別途パブリックコメント等でご意見をいただきたいです。	D:その他、要望・意見・感想等	市政懇談会
152	概要版	2~3	3	アクション プラン	2	分野別計画	2	学校教育・子育て分野	－	－	－	－	概要版のアクションプラン　分野別計画体系図において、「学校教育・子育て」分野の政策が2つしかなく、他分野と比較して薄く見え、力を入れていない印象を与えかねない。生涯学習や多文化共生なども同分野に入れるなど、見せ方の工夫はできないか。	政策・施策の下には多くの事務事業があり、力を入れていることに変わりはありませんが、見せ方については工夫を検討したいと考えております。概要版ではなく、計画冊子中の体系図には、施策の下に事務事業がぶら下がっており、他の分野に比べても遜色なく、注力しているのがお分かりいただけると思います。分野分けについては、他自治体の例も参考に、誕生から義務教育までを一体的に捉える構成とした経緯がございます。	C:修正案に反映させないもの	関係団体
153	概要版	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・計画には現状分析の記述がなく、市の良い点も悪い点も見えない。現状をどう認識しているのか。 ・農業が大変な状況であることや、大規模小売店の進出により地元の商店が衰退している現状を何とかしてほしい。	本日は概要版のため、詳細は割愛しております。ぜひ全体版をご覧いただき、ご意見をいただきたいと思います。 ・地元企業や商店との共存については考えております。意見として担当課に伝えたいと考えております。	D:その他、要望・意見・感想等	地域会議